

静岡コンテストにご参加いただき、有り難うございます。当コンテストでは電子ログでの提出を推奨しておりますが、以下にその注意事項を述べます。ご協力いただきますよう、お願いします。

## 1. 電子ログ提出の要領

- ・原則として、電子ログは**電子メールで本文に内容を記載**してご提出下さい。(第30回から変更)  
(添付ファイルとしてご提出は推奨していません。この場合、ファイル名は下表の要領でつけてください)
- ・コールサイン、添付ファイル時の電子ログファイル名は、以下の要領でつけて下さい。

運用の種別	電子ログのファイル名	コールサインの記載	備考
常置場所運用・固定局の一般局	JX2XXX.log	JX2XXX	
常置場所運用・固定局のQRP運用局	JX2XXX_QRP.log	JX2XXX/QRP	出力1W以下
移動運用の一般局	JX2XXX_2.log	JX2XXX/2	
移動運用のQRP運用局	JX2XXX_2_QRP.log	JX2XXX/2/QRP	出力1W以下

- ・電子ログ提出時にはメールの「件名」を**自局のコールサイン**(上表のコールサインの記載 参照)にして下さい。
- ・メールには「電子ログ」以外の記述は一切しないようにして下さい。
- ・提出後に誤りを発見した場合は、修正して書類提出期限内に再提出して下さい。提出期限内に最後に提出された電子ログで審査します。
- ・電子ログの受付は手作業で行っております(自動応答ではありません)。作業状況に応じて電子ログの受付状況を掲示しておりますので確認して下さい。なお、提出後3日以内に『受付完了』の連絡が届かない場合はご連絡下さい。

## 2. 電子ログの作成要領

- ・一般的なログソフトでは、それに付属(または関連)の電子ログ作成ツールで作成して下さい。その際、コンテスト名称、参加部門・種目、**送信コンテストNo.**など個別の設定が必要です。忘れないように設定して下さい。  
なお、電子ログは当面は可能な限り**旧様式 VERSION=R1.0**で作成して下さい。
- ・自作ログなどの場合は「電子ログ見本」を参考に作成して下さい。その際、ログシート部ではマルチと得点は省略しないで必ず記載して下さい。  
なお、**ログ形式は必ず指定**して下さい(独自製作の場合はログ形式を自局のコールサインとして下さい)。

## 3. 電子ログの様式

- ・JARL指定の電子ログ様式に準じる様式で作成・提出をお願いします。  
(JARL様式に沿っていない、単純なテキストファイルやエクセルファイルなどは不可です)
- ・**2016年のJARL様式変更**に伴うお願い  
JARLの電子ログの様式は2016年10月にログシート部が、同年12月にサマリーシート部が改正されましたが、静岡コンテストでは可能な限り**この改正の前の旧様式 (VERSION=R1.0)**で作成・提出をお願いします。  
\*サマリーシート部は多数の記載項目が廃止されたVERSION=R2.0ではなく、旧来のVERSION=R1.0として下さい。  
\*ログシート部は**マルチと得点は省略しないで必ず記載**して下さい(従来通り)。
- ・その他の注意事項
  - \*ログシート部の交信データは**1行につき1交信とし、1行に交信のすべてのデータを記載**して下さい。  
なお、1行内の項目は**過剰・不足とも不可**です(交信の通しNo.など、記載不可)。
  - \*ログシート部分に印刷用の罫線やページ集計など**QSO行以外の情報は含まない**ようにして下さい。
  - \*ログシートはバンド毎に分けて記載し、同一バンド内は時刻順に記載することを推奨しています。
  - \***英数字・空白(スペース)は半角(英数字は半角大文字)**とし、**余計な文字は入れない**ようにして下さい。

## 4. 電子ログに多い誤りと修正

電子ログでは、手書きログでは起こりえないような誤りが多数見受けられます(送信コンテストNo.など、**電子ログ作成に必要な個別設定**を確認していないためでしょうか)。

第26回までは目視チェックなどで誤りを発見したときはメールで指摘し再提出をお願いしていましたが、第27回からは、審査の公平性の観点から**これらの誤りの指摘は行っていません**。

次の表に示す誤りの例を参考に、**事前によくチェックしてから提出**をお願いします。

また、提出後に誤りに気づいた場合は、書類提出期限内に修正して再提出して下さい。

そのままにしておきますと、**減点したり失格やチェックログ扱い**とさせていただきます場合があります。

## 電子ログで多い誤りの例

項目	誤りの例	正しい表現	コメント
コンテスト名称	東京コンテスト	静岡コンテスト	どうして？
参加部門・種目コード	XAM コードと名称が合わない コードと交信内容が合わない (G7Sなのに7Mzのログなしなど)	FMS 一致させる 一致させる	規約に存在しないコード不可 コードと名称を合わせる コードと交信内容を合わせる
移動運用局、QRP 運用局のコールサイン	JX2XXX	JX2XXX/2 JX2XXX/2/QRP	項1の表参照 /QRPがないと得点2倍は認めない
QRP 運用局の出力	5W	1W	QRPは出力1W以下
連絡先住所と運用地が異なる場合	連絡先住所のみ記載 (運用地の記載がない)	運用地の記載も必要 (記載省略できない)	常置・設置場所と連絡先が異なる場合は特に注意が必要
(社团局の) 署名	コンテスト担当者の署名	社团局代表者(無線局免許状に記載されている)の署名	担当者と代表者が異なる場合は、担当者名は連絡先住所欄に住所に続けて記載
交信日	2020-04-23	2020-05-04	静岡コンテストは5月4日
交信時刻	8:53	17:53	JSTで記載(UTCは不可)
バンド	7.075	7	細部の周波数まで記載は不可
送信コンテストNo.	591801 記載なし	59A0 必ず記載が必要	県内局はRS(T)+市区町略符号 県外局はRS(T)+都府県支庁番号
(ニュー) マルチ	1	A0(最初の交信) - (2回目以降)	ニューマルチはその略符号などを、2回目以降は-を記載
得点	QRP局との交信の得点が2倍にされていない	QRP局との交信の得点は2倍にする	

## 5. 細部の注意事項と誤りの例

- ・過去の受付電子ログでの誤りの例の一部を以下に示しておきますので、参考にして下さい。
- ・半角スペースのかわりに全角スペースがはいっている例も非常に多いです。ご注意ください。

項目	誤りの例	正しい表現	コメント
データとタグ	<NAME>静岡葵<NAME>	<NAME>静岡葵</NAME>	タグ不完全
部門・種目コード コールサイン	<CATEGORYCODE>CMX</CATEGORYCODE> <CALLSIGN>J X 2 X X X</CALLSIGN>	<CATEGORYCODE>CMX</CATEGORYCODE> <CALLSIGN>JX2XXX</CALLSIGN>	全角は不可 他項目も同様
得点	<SCORE BAND=14MHz></SCORE> <SCORE BAND=50MHz>1. 1. 1</SCORE> <SCORE BAND=7MHz>5 , 5 , 2</SCORE> (トータル行がない) <SCORE BAND=1.8MHz>8, 8, 6</SCORE>	(空欄の行は削除) <SCORE BAND=50MHz>1, 1, 1</SCORE> <SCORE BAND=7MHz>5, 5, 2</SCORE> <SCORE BAND=TOTAL>8, 8, 5</SCORE> <SCORE BAND=1.9MHz>8, 8, 6</SCORE>	不要行削除 カンマが正 半角スペース不可 トータル行要 1.8MHzはない
住所	<ADDRESS>4 4 4 - 4 4 4 4 静岡市葵区葵町1 2 3</ADDRESS>	<ADDRESS>〒444-4444 静岡市葵区葵町123</ADDRESS>	数字は半角
電話	<TEL></TEL>	<TEL>012-345-6789</TEL>	空欄不可
ログシート部	1交信の記述が2行になっている 全角文字がはいっている 不要のスペースや罫線がはいっている 日付が違っている 周波数、モード、送信No、受信Noなどなし 送信ナンバー(5991801など)不正 マルチ欄が『1』になっている  マルチや得点を省略	1交信は1行に記述 半角(英文字は半角大文字)とする 不要のスペースや罫線はいれない 運用日・時間に注意 全データが1行に揃っていること RS(T)+略符号(2または3文字) 新マルチのみ略符号を記載(新以外は『-』または空欄、『-』を推奨) マルチや得点は省略しないで記載	特に全角スペースは入れない  旧様式で記載